

岩室村の人口

(8月1日現在)

男	4,275人	(2)
女	4,885人	(△ 1)
計	9,160人	(4)
世帯数	2,035世帯	(1)

(住民基本台帳による)



発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No. 113

越後七浦観音開眼式

三百人が参列諸願成就を祈願

二千人を越える多くの方々から寄せられた、八百万円近い尊いお金で、観音様のお像が見事に完成し、八月二十日午後一時半から、喜びの開眼式が執行されました。当日は、時折り小雨のバ

ラつくあいにくのお天気で、式はまず、導師に当られ、間瀬地区仏教会長の海雲寺高山住職をはじめ、村内各寺院総出の御協力による開眼作法諸願成就の読経が、香、会長(横山村長)の挨拶、募金や建設の経過報告



製作者早川亜美氏の紹介、感謝状の贈呈などの順に進められ、参列者の敬虔な祈りの中で、無事終了しました。深い緑に包まれた周囲の山々の静かなたたずまい。御本体・台座とも白一色の観音様は、両眼とひたいにはめ込まれた宝石が、キラリと陽に映えて、緑の中にくっきりと浮び上がっている、それはそれは美しい御姿です。

人それぞれの願いをこめて、多くの方々が参詣して

下さるよう、奉賛会では希望しています。
(写真は盛んだった開眼

ありがとうございます

ございました

さわやかな秋風立つこの頃、村内外で御活躍の皆様には益々御清栄の御事、心からお喜び申し上げます。皆様方の御芳情により、越後七浦観音はめでたく完成し、去る八月二十日、村内各寺院の御出仕を得て、仏式による開眼式を無事終了いたしましたことを御報告申し上げます。奉賛会の名を以て深く感謝の意を表する次第であります。

二千二百二十名に及ぶ方々から、七百九十万円に達する多額の御浄財を御寄進いただき、また同時に道路改修に当っては、二十七名の方々から用地提供を願うなど、越後七浦観音はその意味からも大きな意義をもつものであり、御像と共に永く歴史に止める所存であります。

またこの観音像建立の発想人であり、しかも製作者であられる早川氏を始め、利害を越えて誠心誠意設計施工に当られた関係者各位の御努力、開眼式前日、奉請草刈などを自発的に牽引して下さった、高屋念仏

式の模様。手前方の白い貝がらの形は、礼拝所の燈明台とお賽銭箱です。)

講中のかくれた御芳志。なおまた、公私共御多忙のところ長い間募金に当られた委員諸氏、そして協力員の方々についても、改めて厚く御礼申し上げます。

現在、海雲寺下から三十分余り、徒歩によらねばならない悪条件下にありますが、近く建設されるシーサイドラインの開通により交通の便もよくなります。それまでの間においても、何かと機会をたえて御参詣下さるならば幸いです。

本来ならば、改めて御礼申し上げるべきところですが、まことに失礼ながら、広報紙上を借りまして御協力いただいたすべての方々に対して、深く深く感謝の意を表し、御礼の挨拶にかえさせていただきますと存じます。ありがとうございました。

昭和四十六年八月
越後七浦観音奉賛会
会長 横山喜八郎
御協力者各位殿